

Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 ワイヤレスコントローラ

目次

製品の概要	3
寸法	7
ポート	8
前面パネル LED	9
利点	13
セキュリティ	14
仕様	16
ソフトウェア要件	19
ライセンス	20
スマートアカウントによるライセンス管理	22
保証	22
シスコの環境保全への取り組み	22
発注情報	23
Cisco Capital	23

製品の概要



図 1.
CW9800H1 ワイヤレスコントローラ



図 2.
CW9800H2 ワイヤレスコントローラ

Cisco Catalyst™ CW9800H1 および CW9800H2 ワイヤレスコントローラは、シスコが開発した中で最も強力なエネルギー効率の高いワイヤレスコントローラとしてゼロから設計されており、Catalyst 9800-80 と比較して、パフォーマンスが最大 36% 向上し、消費電力が最大 40% 削減されます。さらに、CW9800H1 と CW9800H2 の両方のモデルは、省スペースのシングルラックユニット設計で構築されており、データセンター内に柔軟性をもたらします。これらの進歩と多くの革新的な機能により、組織の動的で進化するニーズに対応するように調整されたクラス最高のワイヤレスソリューションが実現しています。

6 GHz Wi-Fi の登場、新しいデバイス、クラウドベースのアプリケーション、スマートワークプレイス、IoT の台頭により、ネットワークの展開、管理、およびトラブルシューティングに対する新しいアプローチが求められています。これらの新しい用途や高まる需要に真正面から取り組んでいるのが、最も厳しいニーズに対応し、将来のステージを設定するように設計された強力な効率的な Cisco Catalyst CW9800 ワイヤレスコントローラです。

Cisco IOS® XE 上に構築された Cisco Catalyst CW9800 ワイヤレスコントローラは、動的な環境で機能するように特別に設計されており、シンプルさ、セキュリティ、および持続可能性を備えています。Cisco Catalyst ソリューションの包括的なスイートと組み合わせることで、CW9800 ワイヤレスコントローラは比類のないワイヤレスエクスペリエンスをもたらし、組織の高まる要求に応えます。これらのコントローラを Cisco Catalyst Center と統合することで、分析とインサイトのために応用 AI を活用し、複雑なタスクを自動化し、トラブルシューティングの効率を向上させることができます。これにより最適なユーザー体験を確保し、組織の広範な戦略目標に集中できるようになります。

Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 は、100 Gbps までの最大スループットで、最大 6,000 台のアクセスポイントと 64,000 台のクライアントをサポートします。また、4 X 25 Gbps (CW9800H1) または 2 X 40 Gbps (CW9800H2) 構成のアップリンクを選択して、次世代のワイヤレスにおける高スループットの要求に対応で

きます。Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 は、ビジネスクリティカルな業務を強化し、ユーザー体験を変える次のような高性能な機能を豊富に備えています。

- ホットパッチ機能で使用可能になるハイアベイラビリティおよびシームレスなソフトウェアアップデートにより、計画内および計画外のイベント時にクライアントおよびサービスは**常時稼働**を維持します。
- Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 では、電波、デバイス、およびユーザーが保護されます。ワイヤレス インフラストラクチャは、Cisco® Encrypted Traffic Analytics (ETA) とソフトウェア定義型アクセス (SD-Access) を備えた最強の第一防壁線となります。さらに、Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 のコントローラは Wi-Fi Protected Access 3 (WPA3) 以降に対応するように設計されているため、**セキュリティ**が最優先されています。これにはセキュアブート、ランタイム防御、イメージ署名、整合性検証、ハードウェアの信頼性などが含まれます。Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 は、ハードウェアの暗号化のオフロードもサポートしており、パフォーマンスを低下させることなく高度な暗号化を実行できます。
- CW9800H1 および CW9800H2 には、オープンでプログラマブルな API 機能が搭載されており、0 日目から N 日目のネットワーク運用を**自動化**することができます。モデル駆動型のストリーミングテレメトリにより、**ネットワークとクライアントの正常性**に関する詳細なインサイトが提供されます。
- Cisco User Defined Network Plus により、IT 部門は、共有ネットワーク上の独自のワイヤレス ネットワークパーティションをエンドユーザーが制御できるようにすることができます。エンドユーザーは、このネットワークにデバイスをリモートで安全に導入できます。大学の学生寮や長期の病院での滞在に最適な Cisco User Defined Network Plus の高度な制御により、各ユーザーはネットワークに接続できるユーザーを選択できます。
- CW9800 ワイヤレスコントローラは、アプリケーション ホスティングをサポートしているため、IoT オーバーレイネットワークへの依存を軽減し、その結果、CapEx と OpEx の両方を節約できます。この機能を使用すると、Catalyst アクセスポイントで Cisco IOx アプリケーションを直接アップロード、展開、および管理できます。またサードパーティの開発者も、指定された CW9800 リソースにアクセスして、Docker を使用してコンテナ化されたアプリケーションを作成および実行できます。この統合により、業務の合理化が促進され、ネットワーク インフラストラクチャの全体的な効率が向上します。
- Cloud Monitoring for Catalyst Wireless を使用すると、シスコのインフラストラクチャの統合ビューが利用できるようになり、ネットワークとクライアントの問題の根本原因分析などのトラブルシューティングに役立ちます。クラウドモニタリングは Cisco DNA Essentials および Advantage に含まれる Cisco Meraki® ダッシュボードを介して提供され、ネットワークパフォーマンスと稼働時間を最大化しながら、サービスの確実な提供をサポートします。さらに、クラウドベースであるため、どこからでもアクセスできます。さらに優れているのが、すぐにアップグレードすることなく、既存のハードウェアを利用できる点です。CW9800 ワイヤレスコントローラのクラウドモニタリングは、今後のソフトウェアリリースで利用可能になる予定です。
- Cisco In-Service Software Upgrade (ISSU) の機能により、ソフトウェアの更新やアップグレード中におけるネットワークのダウンタイムは過去のものとなります。ISSU はネットワークの機能を維持したまま、完全なイメージによるアップグレードと更新を実行します。ソフトウェアイメージまたはパッチは、トラフィックの転送を妨げることなくワイヤレスコントローラにプッシュされ、アップグレードのプロセスが進行中でもすべてのアクセスポイントとクライアントセッションが維持されます。ネットワークのアップグレードがクリック 1 つで済み、あとは自動で最新のソフトウェアに更新されます。

機能概要

Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 は、完全にプログラマブルなマルチコア ネットワーク プロセッサを搭載しており、Catalyst 9800-80 と比較して、コントローラのパフォーマンスが最大 36% 向上し、消費電力が最大 40% 削減されます。1 Gbps RJ-45 および 1/10 Gbps Small Form-Factor Pluggable (SFP) ハイアベイラビリティ (HA) ポートの両方が利用でき、要件に応じて 4 x 25 Gbps (CW9800H1) または 2 x 40 Gbps (CW9800H2) アップリンクのオプションを選択できます。また CW9800H1 および CW9800H2 は、ラックスペースを削減できるサイズで、単一のラックユニットで提供されるため、導入の柔軟性が向上します。

機能

表 1. 主な機能

メトリック	値
アクセスポイントの最大数	6000
最大クライアント数	64,000
最大スループット	最大 100 Gbps
最大 WLAN 数	4096
最大 VLAN 数	4096
最大サイトタグ数	6000
サイトあたりの最大 Flex AP 数	300
最大ポリシータグ数	6000
最大 RF タグ数	6000
最大 RF プロファイル数	12000
最大ポリシープロファイル数	1000
最大 Flex プロファイル数	6000
固定アップリンク	8x 1/10 Gbps SFP+ 4x 25 Gbps SFP+ (CW9800H1) 2x 40 Gbps SFP+ (CW9800H2)
冗長電源	AC または DC の電源装置
最大消費電力 (モジュール搭載)	500W
展開モード	一元化、Cisco FlexConnect®、およびファブリックワイヤレス (SD-Access)
フォーム ファクタ	1 RU
ライセンス	スマートライセンス対応
オペレーティングシステム	Cisco IOS XE

メトリック	値
管理	統合 WebUI、Cisco Catalyst Center、サードパーティ（オープン標準 API）*
ポリシーエンジン	Cisco Identity Services Engine（ISE）*
ロケーションプラットフォーム	Cisco Spaces*
アクセスポイント	Cisco 802.11ac Wave 2 アクセスポイント、Cisco Catalyst 9100 802.11ax アクセスポイント 自動周波数調整でサポートされる標準電力（該当する場合）

*互換性については、『[Compatibility Guide](#)』を参照してください。

常時稼働

シームレスなソフトウェアアップデートにより、重大な問題を迅速に解決したり、ダウンタイムなしで新しいアクセスポイントを導入することができるようになり、また、ソフトウェアアップデートの柔軟性も向上します。1:1 のアクティブ/スタンバイを使用したステートフルスイッチオーバー（SSO）と N+1 冗長性により、計画外のイベントが発生している間もネットワーク、サービス、およびクライアントは常時稼働を維持します。Cisco Advanced Wireless Intrusion Prevention System（aWIPS）は、Cisco Unified Access® インフラストラクチャを使用して有線およびワイヤレスによる不正や脅威を検出し、場所を特定して緩和および封じ込めを行う完結型のワイヤレスセキュリティソリューションです。

セキュア

Cisco Catalyst CW9800 ワイヤレスコントローラでは、電波、デバイス、およびユーザーが保護されます。ワイヤレス インフラストラクチャは、ETA と SD-Access を備えた最強の第一防御線となります。コントローラには、セキュアブート、ランタイム防御、イメージ署名、整合性検証、ハードウェアの信頼性といったセキュリティが組み込まれています。

オープンでプログラム可能

コントローラは、Cisco IOS XE オペレーティングシステムに基づいて構築されており、オープンスタンダードベースのプログラマブルな API やモデル駆動型のテレメトリが豊富に用意されています。これにより、0 日目から N 日目のネットワーク運用を簡単に自動化できます。

詳細



図 3.
Cisco Catalyst CW9800H1



図 4.
Cisco Catalyst CW9800H2

寸法

表 2. 物理寸法

寸法	値
幅	43.94 cm (17.3 インチ)
奥行	46.74 cm (18.4 インチ)
高さ	4.39 cm (1.73 インチ)
重量	9.3 kg (20.5 ポンド)

前面パネル

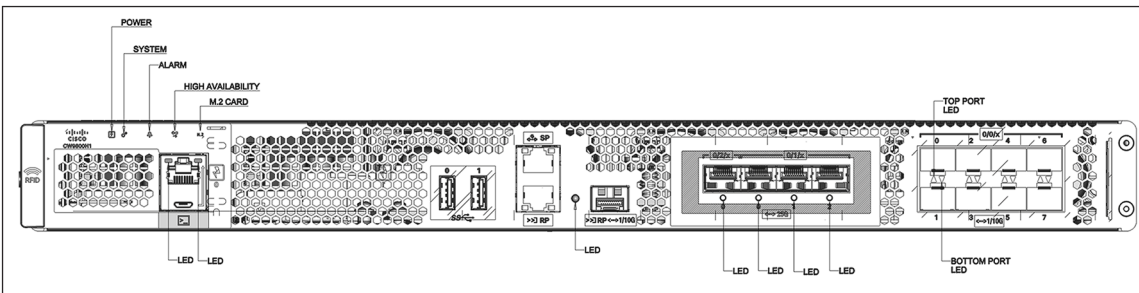
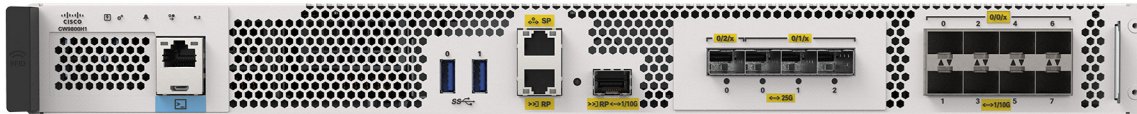
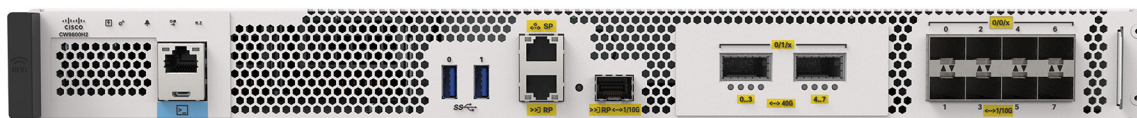


図 5.
CW9800H1 前面パネル



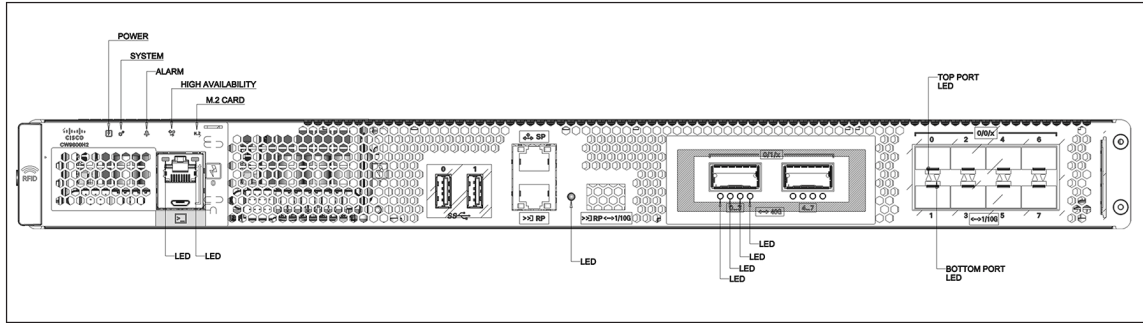


図 6.
CW9800H2 前面パネル

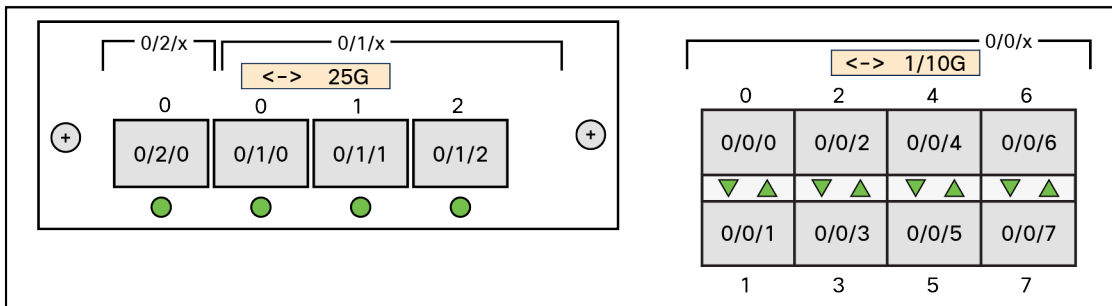


図 7.
CW9800H1 ポート ID

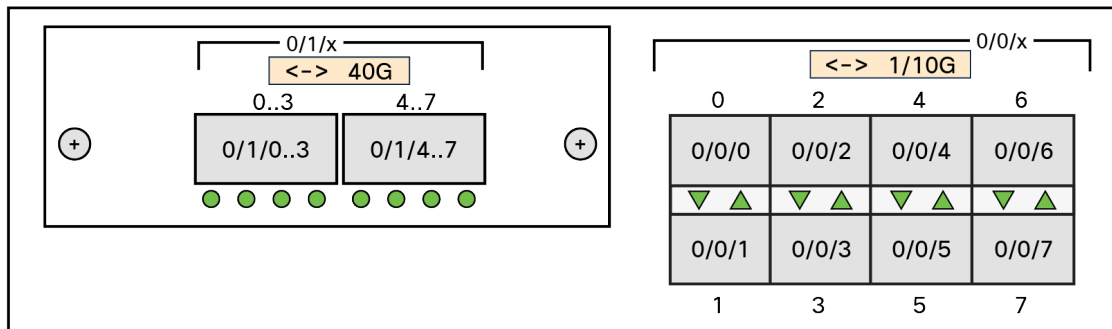


図 8.
CW9800H2 ポート ID

ポート

表 3. ポートとその目的

ポート	目的
RJ45 コンソールポート x 1	アウトオブバンド管理用コンソールポート
USB 3.0 コンソールポート x 1	アウトオブバンド管理用コンソールポート
USB 3.0 ポート x 2	外部メモリ接続用 USB 3.0 ポート

ポート	目的
RJ-45 管理ポート x 1	アウトオブバンド管理用管理ポート（別名：サービスポート）
RJ-45 冗長ポート x 1	SSO に使用される冗長ポート
SFP 10 Gbps イーサネット冗長ポート x 1	SSO に使用される冗長ポート。シスコがサポートする冗長ポート用の SFP で機能します
固定アップリンク ポート	8x 1/10 Gbps SFP+ 4x 25 Gbps SFP+ (CW9800H1) 2x 40 Gbps SFP+ (CW9800H2)

前面パネル LED

表 4. 前面パネル LED

LED	色	機能
POWER PWR	緑	すべての電源レールが仕様範囲内の場合は緑になります
STATUS SYS	緑	点灯：IOS ブートが完了。 点滅：IOS ブートが進行中。
	オレンジ	点灯：システムクラッシュ 点滅：セキュアブートの失敗。 消灯：ROMMON ブート。
ALARM ALM	緑	点灯：ROMMON ブートが完了。 点滅：システムアップグレードが進行中。
	オレンジ	点灯：ROMMON ブートおよびシステムのブートアップ。 点滅：温度エラーおよびセキュアブートの失敗。
HIGH AVAILABILITY HA	緑	点灯：HA アクティブ。 点滅：HA ホットスタンバイ。
	オレンジ	ゆっくり点滅：HA スタンバイコールドで起動。 速い点滅：HA メンテナンス。
USB CON ENABLED EN	緑	点灯：USB コンソールが有効（RJ-45 コンソールは無効）。
10/100/1000 RJ45 I/F LINK	緑	緑の点灯はリンクを示します。

LED	色	機能
10/100/1000 RJ45 I/F ACTIVITY	緑	緑の点滅はアクティビティを示します。
SSD ACTIVITY SSD	緑	ユニット内のハードディスク SSD メモリデバイスのアクティブな使用を示します。

背面パネル



図 9.
背面パネル

シャーシには前面から背面へのエアフローがあります。

- 4つの内蔵ファンがシャーシの前面から冷気を取り入れ、内部コンポーネントに通気して、動作温度を許容範囲に保ちます。
- ファンは、シャーシの背面に設置されています。

電源

CW9800H1 および CW9800H2 のコントローラには、お客様の選択に応じて AC または DC のいずれかの冗長電源装置が同梱されます。

電源入力モジュール (PEM) により、システムに冗長電源が提供されます。CW9800H1 および CW9800H2 は PEM を 1 つ搭載するだけで継続的に動作できます。PEM はホットスワップ可能です。システムへの電源を切断せずに 1 つの PEM を交換できます。PEM へのすべての外部接続はシャーシの背面パネルから行われ、背面から取り外しまたは挿入されます。装置の主電源スイッチはシャーシ背面の PEM のすぐ隣にあります。

表 5. 電源オプション

電源の状態	緑 (正常) LED ステータス	オレンジ (障害) LED ステータス
どの電源モジュールにも AC 電力が供給されていません	消灯	消灯
電源モジュールの障害 (過電圧、過電流、過熱、ファン障害など)	消灯	電源の障害は赤 ファンの障害はオレンジ
電源が引き続き動作する場合 (高温、高電力、および低速ファン) の電源の警告イベント	消灯	1 Hz の点滅

注: 冗長性は同じ電源タイプでサポートされます。

サポートされる SFP

- 1、10、25、および 40 Gbps ポートはすべて個別に設定できます。
- SFP、SFP+、および QSFP の活性挿抜 (OIR) 。
- モジュールはホットスワップ可能です。

表 6. サポートされる SFP

タイプ	サポートされるモジュール
小型フォーム ファクタ (SFP)	GLC-LH-SMD GLC-SX-MMD GLC-TE GLC-ZX-SMD GLC-BX-U GLC-BX-D GLC-EX-SMD
拡張 SFP (SFP+)	SFP-10G-SR SFP-10G-SR-S SFP-10G-SR-I SFP-10G-LR SFP-10G-LR-X SFP-10G-ER SFP-H10GB-ACU10M SFP-H10GB-CU5M SFP-10G-AOC10M SFP-10G-TX Finisar-LR (FTLX1471D3BCL) Finisar-SR (FTLX8574D3BC) SFP-H10GB-CU1M SFP-H10GB-CU1-5M SFP-H10GB-CU2M SFP-H10GB-CU2-5M SFP-H10GB-CU3M SFP-H10GB-ACU7M SFP-10G-AOC1M SFP-10G-AOC2M SFP-10G-AOC3M SFP-10G-AOC5M SFP-10G-AOC7M

タイプ	サポートされるモジュール
	SFP-10G-ZR-I SFP-10/25G-CSR-S SFP-10/25G-LR-S SFP-10/25G-LR-I SFP-10/25G-CSR-S SFP-10/25G-LR-S SFP-10/25G-LR-I SFP-10/25G-BXD-I SFP-10/25G-BXU-I
拡張 SFP (SFP+) CW9800H1 のみ	SFP-25G-ER-I SFP-25G-SR-S SFP-25G-AOC2M SFP-25G-AOC10M SFP-25G-AOC5M SFP-H25G-SFP-H10GB-CU1M SFP-H25G-CU5M SFP-25G-AOC3M SFP-25G-AOC7M SFP-25G-AOC1M
クアッド SFP (QSFP) CW9800H2 のみ	QSFP-40G-SR4 QSFP-40G-CSR4 QSFP-40G-SR4-S QSFP-40G-SR-BD QSFP-40G-LR4-S QSFP-40G-LR4 QSFP-40G-ER4 QSFP-H40G-CU5M QSFP-H40G-AOC10M QSFP-H40G-AOC30M QSFP-H40G-CU4M QSFP-H40G-ACU10M QSFP-H40G-AOC2M QSFP-H40G-AOC5M QSFP-H40G-CU2M QSFP-H40G-CU3M QSFP-H40G-CU1M QSFP-H40G-ACU7M

タイプ	サポートされるモジュール
	QSFP-H40G-AOC1M
	QSFP-H40G-AOC3M
	QSFP-H40G-AOC7M
	QSFP-H40G-AOC15M
	QSFP-H40G-AOC20M
	QSFP-H40G-AOC25M
	QSFP-H40G-CU0-5M

利点

Cisco IOS XE により、ネットワーク自動化によるネットワークの設定、運用、モニターリングにまったく新しいパラダイムが展開されます。シスコの自動化ソリューションはオープンかつ標準ベースであり、ネットワークデバイスのライフサイクル全体をカバーします。デバイスのライフサイクルに基づき、ネットワーク自動化を実現するさまざまなメカニズムを以下に示します。

- 自動化されたデバイスプロビジョニング**：ネットワークでのシスコアクセスポイントの初回展開時に、ソフトウェアイメージのアップグレードプロセスおよびコンフィギュレーション ファイルのインストールプロセスを自動化します。シスコは、プラグアンドプレイ (PnP) などのターンキーソリューションを提供しています。これにより、自動化された負担の少ない展開が可能になります。
- API 駆動型設定**：Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 などの最新ワイヤレスコントローラでは、多様な自動化機能をサポートしています。ネットワークリソースの自動プロビジョニング用途では、（既製およびカスタムビルドの）外部ツール向けとして YANG データモデルを使用するネットワーク設定プロトコル (NETCONF) を介した堅牢なオープン API を提供しています。
- きめ細かな可視性**：モデル駆動型テレメトリは、ワイヤレスコントローラから宛先にデータをストリーミングするメカニズムを提供します。ストリーミングされるデータは、YANG モデルでのデータセット サブスクリプションを通じて伝達されます。サブスクライブされたデータセットは、設定された間隔で宛先に送信されます。さらに、Cisco IOS XE は、リアルタイムに近いネットワークモニターリングを実現するプッシュモデルを可能にします。これにより障害をすばやく検出・修正します。
- シームレスなソフトウェアアップグレードとパッチ適用**：OS の復元力を強化するため、Cisco IOS XE では、通常のメンテナンスリリースの合間に、重大なバグやセキュリティの脆弱性に関する修正パッチを提供します。このサポートにより、お客様は次のメンテナンスリリースを待たずに修正パッチを適用できます。

常時稼働

- ハイアベイラビリティ**：1 : 1 のアクティブ/スタンバイを使用したステートフル スイッチオーバーと N+1 冗長性により、計画外のイベントが発生した場合でもネットワーク、サービス、およびクライアントは常時稼働を維持します。
- ホットパッチを使用したソフトウェア メンテナンス アップグレード (SMU)**：パッチ適用により、ネットワーク全体をダウンさせることなくバグ修正としてパッチをインストールできます。これにより、ソフトウェアイメージ全体を再認定する必要がなくなります。SMU はシステムにインストールできるパッケージで、リリース済みのイメージにパッチ修正やセキュリティ上の問題の解決を行うことができます。SMU を使用するとネットワークの問題に迅速に対応できるだけでなく、テストに必要な時間と範囲も削減できます。Cisco

IOS XE プラットフォームでは SMU の互換性が内部検証されるため、互換性のない SMU はインストールされません。すべて SMU が後続の Cisco IOS XE ソフトウェア メンテナンス リリースに統合されています。

- **アクセスポイントのインテリジェントなローリングアップグレードおよびシームレスなマルチサイトアップグレード** : Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 のワイヤレスコントローラには、ネットワーク運用を簡素化するためのアクセスポイントのインテリジェントなローリングアップグレードが搭載されています。マルチサイトアップグレードは複数のステージで実行できるようになりました。アクセスポイントは、ネットワーク全体を再起動することなくインテリジェントにアップグレードできます。
- **ハイアベイラビリティモードでの Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 のワイヤレスコントローラのスタンバイモニターリングにより、アクティブコントローラを経由せずに、プログラムインターフェイス (NETCONF/YANG、RESTCONF) およびコマンドライン インターフェイス (CLI) を使用して、ハイアベイラビリティペアのスタンバイコントローラのシステム正常性をモニターできます。詳細については、技術マニュアルを参照してください。**
- **In-Service Software Upgrade (ISSU)** : ISSU は、ネットワークを稼働したままで、ダウンタイムがゼロの、完全なイメージアップグレード/更新です。ソフトウェアイメージまたはパッチは、トラフィックの転送を妨げることなくワイヤレスコントローラにプッシュされ、アップグレードのプロセスが進行中でもすべてのアクセスポイントとクライアントセッションが維持されます。

ネットワークのアップグレードがクリック 1 つで済み、あとは自動で最新のソフトウェアに更新されます。バックアップ 9800 コントローラは、アクティブな 9800 コントローラを介してプッシュされる新しいソフトウェアを受信します。バックアップのコントローラがアクティブに切り替わり、ネットワークを引き継ぐと同時にアクティブだったコントローラがバックアップに切り替わって、ソフトウェアのアップグレードを処理します。インテリジェントな RF ベースのローリング アクセスポイント アップグレードによって、ワイヤレスセッションには影響を与えずにすべてのアクセスポイントが段階的にアップグレードされます。この手順は、コントローラからネイティブに手動で介入することなく、外部オーケストレータや追加ライセンスを必要とせずに実行されます。

セキュリティ

- **暗号化トラフィック分析 (ETA)** : ETA は、アクセスレイヤから入ってくる暗号化トラフィックからマルウェアを特定できる独自機能です。トラフィックの暗号化は急増しているため、可視化して脅威を検出できるこの機能は、各レイヤでネットワークの安全性を保つために不可欠です。
- **信頼できるシステム** : Cisco Trust Anchor テクノロジーは、高い安全性の基盤をシスコ製品に提供します。高い信頼性を誇る Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 では、サプライチェーントラストに関するハードウェアとソフトウェアの信頼性を確保し、ソフトウェアやファームウェアでの中間者攻撃を大幅に軽減します。Trust Anchor の機能には、次のようなものがあります。
- **イメージの署名** : 暗号化で署名されたイメージは、ファームウェア、BIOS、およびその他のソフトウェアが正規のものであり、改ざんされていないことを保証します。システムのブート時に、ソフトウェアシグネチャの整合性が確認されます。
- **セキュアブート** : シスコのセキュアブートテクノロジーは、ブートシーケンスの信頼チェーンを永続的なハードウェアに固定し、ユーザの権限レベルにかかわらず、システムの通常状態や実行されるソフトウェアに対する脅威を緩和します。不正に改ざんされたファームウェアに対しても、多層保護が実現します。

- **Cisco TrustAnchor モジュール** : 改ざん耐性と強力な暗号化を備えた単一チップのハードウェアソリューションが製品を一意に識別します。これによりシスコが提供元を確認できるため、製品の真偽が保証されます。
- **Cisco Wireless Intrusion Prevention System (WIPS)** : WIPS は、ワイヤレスネットワークへの侵入や脅威を検出、特定、軽減および阻止する高度なネットワークセキュリティを提供します。ワイヤレスネットワークの異常、不正アクセス、および RF 攻撃をモニターおよび検出できます。Cisco Catalyst Center には、不正および aWIPS 用の新しい専用分類エンジンが組み込まれています。WIPS ソリューションの完全統合スタックには、Cisco Catalyst Center、Cisco Catalyst 9800 シリーズ コントローラ、Wave 2、および Cisco Catalyst 9100 アクセスポイントが含まれます。この新しいアーキテクチャにより、検出とセキュリティが向上し、シンプルで使いやすくなり、誤検出アラームが減少します。

Flexible NetFlow

- **Flexible NetFlow (FNF)** : Cisco IOS FNF は、柔軟性と拡張性が強化された次世代のフロー可視化テクノロジです。ネットワーク インフラストラクチャの最適化や、運用コストの削減、キャパシティプランニングおよびセキュリティインシデント検出の改善に役立ちます。

アプリケーションの可視性と制御

- **次世代型 Network-Based Application Recognition (NBAR2)** : Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 では、NBAR2 により、最大 1,400 の既知の事前定義済みアプリケーション署名と最大 150 の暗号化アプリケーションに対応する、高精度のアプリケーション分類技術が実現しています。NBAR2 はエンドユーザによるアプリケーション使用を識別、制御、モニターするための重要なツールをネットワーク管理者に提供するとともに、ユーザエクスペリエンスの品質を確保し、悪意のある攻撃からネットワークを保護します。FNF を使用して、サポート対象の NetFlow コレクタ (Cisco Prime[®]、Cisco Secure Network Analytics、準拠しているサードパーティツールなど) にネットワーク内のアプリケーション パフォーマンスやアクティビティをレポートします。

サービス品質

- **優れた QoS** : QoS 技術はネットワークリソースを管理するツールおよび技術の集合であり、音声、ビデオおよびデータネットワークで透過的なコンバージェンスを実現するための鍵となる技術と考えられています。Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 の QoS は、パケットデータに基づいたトラフィックの分類とアプリケーションの認識やトラフィック制御アクション (ドロップ、マーキング、ポリシングなど) で構成されています。モジュール型の QoS コマンドライン フレームワークを採用することで、一貫性がありプラットフォームに依存しない、柔軟な構成による動作を実現します。また、CW9800H1 および CW9800H2 はターゲットの 2 つのレベル (BSSID とクライアント) のポリシーをサポートしています。ポリシーの割り当ては、クライアントレベルまで細かく下げることができます。

スマートオペレーション

- **WebUI** : WebUI は組み込み GUI ベースのデバイス管理ツールです。デバイスをプロビジョニングしたり、デバイスの導入および管理性を簡素化したり、ユーザーエクスペリエンスを向上したりする機能を提供します。WebUI にはデフォルトイメージが付属しています。デバイス上で何かを有効にしたり、ライセンスをインストールしたりする必要はありません。CLI の使用方法が分からなくても、WebUI を使用して 0 日目や 1 日目から設定を構築し、それ以降もデバイスをモニターしたり、トラブルシューティングしたりできます。

仕様

表 7. 仕様

項目	仕様	
ワイヤレス	IEEE 802.11a, 802.11b, 802.11g, 802.11d, WMM/802.11e, 802.11h, 802.11n, 802.11k, 802.11r, 802.11u, 802.11w, 802.11ac Wave 2, 802.11ax	
有線、スイッチング、およびルーティング	IEEE 802.3 10BASE-T, IEEE 802.3u 100BASE-TX, 1000BASE-T, 1000BASE-SX, 1000-BASE-LH, IEEE 802.1Q VLAN タギング、IEEE 802.1AX リンクアグリゲーション	
データ標準規格	<ul style="list-style-type: none"> • RFC 768 User Datagram Protocol (UDP) • RFC 791 IP • RFC 2460 IPv6 • RFC 792 Internet Control Message Protocol (ICMP) • RFC 793 TCP • RFC 826 Address Resolution Protocol (ARP) • RFC 1122 インターネットホストの要件 • RFC 1519 Classless Inter-Domain Routing (CIDR) • RFC 1542 ブートストラッププロトコル (BOOTP) • RFC 2131 Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) • RFC 5415 Control and Provisioning of Wireless Access Points (CAPWAP) プロトコル • RFC 5416 802.11 向け CAPWAP バインディング 	
セキュリティ規格	<ul style="list-style-type: none"> • IEEE 802.11i (WPA2, RSN) • Wi-Fi Protected Access 3 (WPA3) • RFC 1321 MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズム • RFC 1851 Encapsulating Security Payload (ESP) Triple DES (3DES) 変換 • RFC 2104 HMAC : メッセージ認証用の鍵付きハッシュ • RFC 2246 TLS プロトコルバージョン 1.0 • RFC 2401 インターネットプロトコルのためのセキュリティアーキテクチャ • RFC 2403 ESP および AH における HMAC-MD5-96 • RFC 2404 ESP および AH における HMAC-SHA-1-96 • RFC 2405 明示的 IV を伴う ESP DES-CBC 暗号アルゴリズム • RFC 2407 Internet Security Association Key Management Protocol (ISAKMP) の解釈 • RFC 2408 ISAKMP • RFC 2409 インターネット キー エクスチェンジ (IKE) • RFC 2451 ESP CBC モード暗号アルゴリズム • RFC 3280 インターネット X.509 Public Key Infrastructure (PKI) 証明書および証明書失効リスト (CRL) プロファイル • RFC 4347 データグラムトランスポート層セキュリティ (DTLS) • RFC 5246 TLS プロトコルバージョン 1.2 • RFC 8446 TLS プロトコルバージョン 1.3 	

項目	仕様	
暗号化標準規格	<ul style="list-style-type: none"> • Advanced Encryption Standard (AES) : Cipher Block Chaining (CBC) 、 Counter with CBC-MAC (CCM) 、 Counter with CBC Message Authentication Code Protocol (CCMP) • DES : DES-CBC、3DES • セキュアソケットレイヤ (SSL) および Transport Layer Security (TLS) : RC4 128 ビットと、RSA 1024 ビットおよび 2048 ビット • DTLS : AES-CBC • IPsec : DES-CBC、3DES、AES-CBC • 802.1AE MACsec 暗号化 	
認証、許可、アカウントिंग (AAA)	<ul style="list-style-type: none"> • IEEE 802.1X • RFC 2548 Microsoft ベンダー固有の RADIUS 属性 • RFC 2716 Point-to-Point Protocol (PPP) Extensible Authentication Protocol (EAP; 拡張可能認証プロトコル) - TLS • RFC 2865 RADIUS 認証 • RFC 2866 RADIUS アカウントिंग • RFC 2867 RADIUS トンネルアカウントिंग • RFC 2869 RADIUS 拡張 • RFC 3576 RADIUS への動的許可拡張機能 • RFC 5176 RADIUS への動的許可拡張機能 • RFC 3579 EAP の RADIUS サポート • RFC 3580 IEEE 802.1X RADIUS ガイドライン • RFC 3748 Extensible Authentication Protocol (EAP) • Web ベース認証 • 管理ユーザのための TACACS サポート 	
管理標準規格	<ul style="list-style-type: none"> • Simple Network Management Protocol (SNMP) v1、v2c、v3 • Telnet (RFC 854) • RFC 1155 TCP/IP ベースのインターネットの管理情報 • RFC 1156 MIB • RFC 1157 SNMP • RFC 1213 SNMP MIB II • RFC 1350 Trivial File Transfer Protocol (TFTP) • RFC 1643 イーサネット MIB • RFC 2030 Simple Network Time Protocol (SNTP) • RFC 2616 HTTP • RFC 2665 Ethernet-Like インターフェイスタイプ MIB • RFC 2674 トラフィッククラス、マルチキャスト フィルタリング、および仮想拡張機能を使用したブリッジの管理対象オブジェクトの定義 • RFC 2819 リモートモニタリング (RMON) MIB • RFC 2863 インターフェイスグループ MIB • RFC 3164 Syslog • RFC 3414 SNMPv3 のユーザベース セキュリティ モデル (USM) • RFC 3418 SNMP MIB • RFC 3636 IEEE 802.3 MAU のマネージドオブジェクトの定義 • RFC 4741 Base NETCONF プロトコル 	

項目	仕様	
	<ul style="list-style-type: none"> • RFC 4742 NETCONF over SSH • RFC 6241 NETCONF • RFC 6242 NETCONF over SSH • RFC 5277 NETCONF イベント通知 • RFC 5717 部分ロックのリモートプロシージャコール • RFC 6243 NETCONF のデフォルトあり機能 • RFC 6020 YANG • シスコのプライベート MIB 	
管理インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> • Web ベース : HTTP/HTTPS • コマンドライン インターフェイス : Telnet、 Secure Shell (SSH) プロトコル、 シリアル ポート • SNMP • NETCONF 	
ハードディスクドライブ (HDD)	<ul style="list-style-type: none"> • SATA ソリッドステートドライブ (SSD) • 240 GB のメモリ 	
サポートされる環境条件	<p>動作温度 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通常 : 0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F) • 短時間 : 0 ~ 50 °C (32 ~ 122 °F) <p>温度 (非動作時) :</p> <ul style="list-style-type: none"> • -40 ~ 65 °C (-104 ~ 149 °F) <p>湿度 (動作時) :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通常 : 10 ~ 90% (結露しないこと) • 短時間 : 5 ~ 90% (結露しないこと) <p>非動作時温度湿度 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5% ~ 93% (28 °C (82 °F) 時) <p>動作時の高度 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプライアンス動作環境 : 0 ~ 3,000 m (0 ~ 10,000 ft) • アプライアンス非動作環境 : 0 ~ 12,192 m (0 ~ 40,000 ft) <p>電源入力 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC 入力周波数範囲 : 47 ~ 63 Hz • AC 入力範囲 : 90 ~ 264 VAC (AC PEM 搭載) • DC 入力範囲 : -40 ~ -72 VDC (DC PEM 搭載) • 最大電力 (モジュール搭載) : 500 W <p>熱放散 : 1706 BTU/時</p> <p>音響レベル測定 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通常の動作条件での音響出力レベルは 73 (dBA) です。 	

項目	仕様	
適合規格の遵守	<p>安全性：</p> <ul style="list-style-type: none"> • UL/CSA 60950-1 • IEC/EN 60950-1 • AS/NZS 60950.1 • CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 <p>EMC：エミッション：</p> <ul style="list-style-type: none"> • FCC 47CFR15 • AS/NZS CISPR 22 • CISPR 22 • EN55022/EN55032 (EMI-1) • ICES-003 • VCCI • KN 32 (EMI-2) • CNS 13438 <p>EMC：エミッション：</p> <ul style="list-style-type: none"> • EN61000-3-2 電源高調波 (EMI-3) • EN61000-3-3 電圧変動、変動、およびフラッカ (EMI-3) <p>EMC：イミュニティ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • IEC/EN61000-4-2 静電放電イミュニティ • IEC/EN61000-4-3 放射電磁界イミュニティ • IEC/EN61000-4-4 EFT-B イミュニティ (AC 電源リード線) • IEC/EN61000-4-4 EFT-B イミュニティ (DC 電源リード線) • IEC/EN61000-4-4 EFT-B イミュニティ (信号リード線) • IEC/EN61000-4-5 サージ AC ポート • IEC/EN61000-4-5 サージ DC ポート • IEC/EN61000-4-5 サージングナルポート • IEC/EN61000-4-6 伝導妨害に対するイミュニティ • IEC/EN61000-4-8 電源周波数磁界イミュニティ • IEC/EN61000-4-11 電圧ディップ、瞬断、および電圧変異 • K35 (EMI-2) <p>EMC (ETSI/EN)</p> <ul style="list-style-type: none"> • EN 300 386 電気通信ネットワーク機器 (EMC) (EMC-3) • EN55022 情報技術機器 (エミッション) • EN55024/CISPR 24 情報技術機器 (イミュニティ) • EN50082-1/EN61000-6-1 一般イミュニティ標準 (EMC-4) 	クラス A

ソフトウェア要件

Cisco Catalyst CW9800H1 および CW9800H2 は、Cisco IOS XE ソフトウェアリリース 17.14.1 以降で動作します。

ライセンス

Cisco Catalyst CW9800 ワイヤレスコントローラを起動するのにライセンスは必要ありません。ただし、コントローラにアクセスポイントを接続するには、Cisco DNA ソフトウェア サブスクリプションが必要です。CW9800 シリーズ コントローラに接続する資格を得るには、各アクセスポイントに Cisco DNA サブスクリプション ライセンスが必要です。

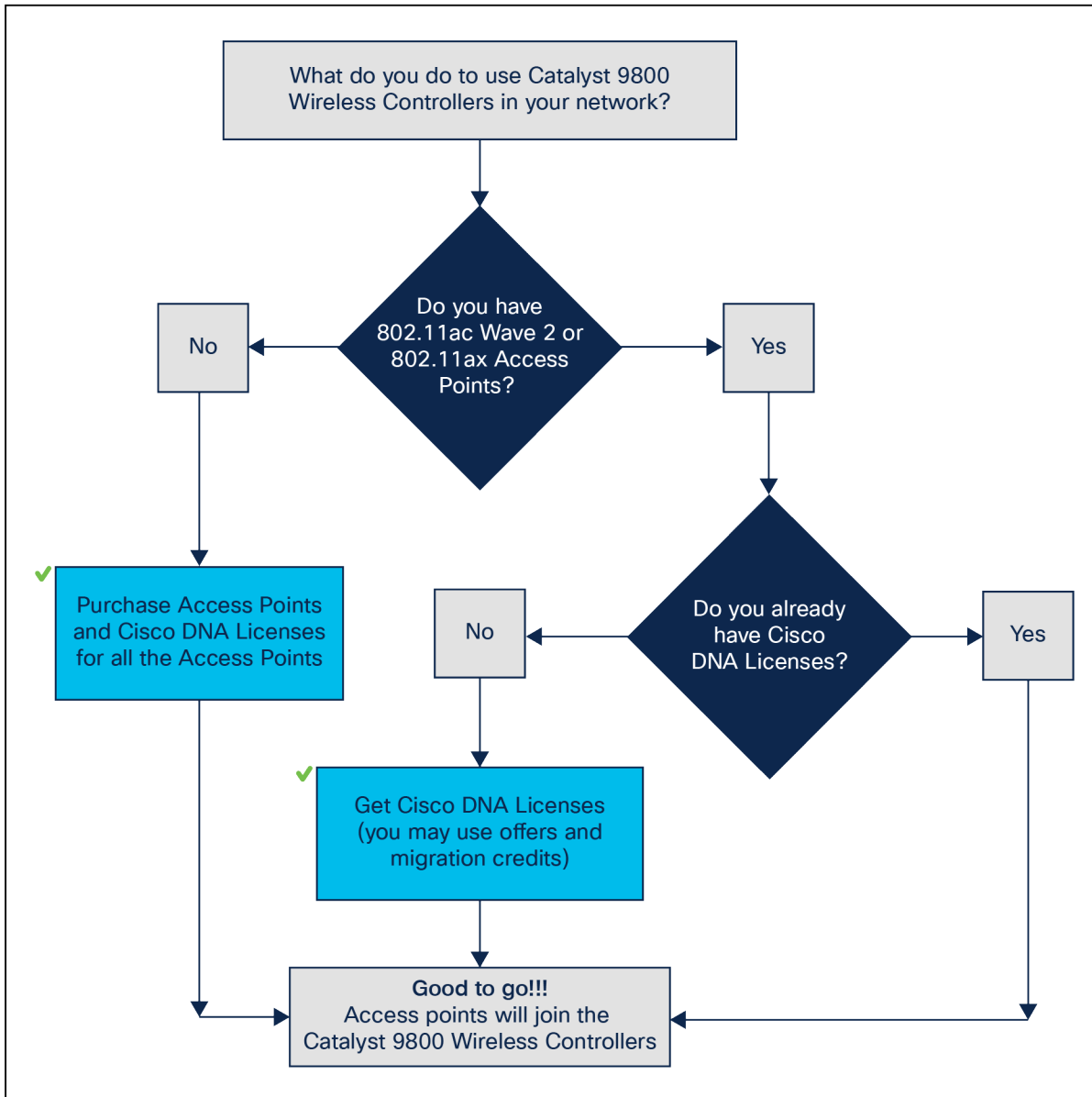


図 10. Cisco Catalyst CW9800 シリーズ ワイヤレス コントローラに接続するアクセスポイントのライセンス要件の決定

Cisco Catalyst CW9800 コントローラに接続するアクセスポイントには、新しく簡素化されたソフトウェア サブスクリプション パッケージがあります。

Cisco DNA Essentials および Cisco DNA Advantage を含む Cisco DNA ソフトウェアの両方の層をサポートします。

Cisco DNA ソフトウェア サブスクリプションは、アクセスポイントに関するシスコのイノベーションを提供します。これらには永続的な Network Essentials と Network Advantage のライセンスオプションもあり、802.1X 認証、QoS、PnP のようなワイヤレスの基本要素だけでなく、テレメトリや可視性、SSO、セキュリティ制御にも対応します。

Cisco DNA サブスクリプション ソフトウェアは、3 年、5 年、または 7 年のサブスクリプション期間を購入する必要があります。サブスクリプションの有効期限が切れると Cisco DNA の機能も無効になりますが、Network Essentials と Network Advantage の機能はそのまま使えます。

永続的な Network Essentials および Network Advantage を含む Cisco DNA ソフトウェアの全機能リストについては、次の機能マトリックスを参照してください。https://www.cisco.com/c/m/en_us/products/software/dna-subscription-wireless/en-sw-sub-matrix-wireless.html?oid=porew018984

2つのモードのライセンスを使用できます。

- シスコ スマート ライセンシングは、シスコポートフォリオ全体および組織全体でソフトウェアをより簡単、迅速かつ便利に購入および管理できる柔軟なライセンスモデルです。また、これは安全です。ユーザーが何にアクセスできるかを制御できます。スマート ライセンスを使用すると、次のことが可能になります。
 - **簡単なアクティベーション**：スマートライセンスは、組織全体で使用できるソフトウェアライセンスのルールを確立します。PAK（製品アクティベーションキー）は不要です。
 - **管理の統合**：My Cisco Entitlements（MCE）は、使いやすいポータルですべてのシスコ製品とサービスの完全なビューを提供するので、取得したもの、使用しているものを常に把握できます。
 - **ライセンスの柔軟性**：ソフトウェアはハードウェアにノードロックされていないため、必要に応じてライセンスを簡単に使用および転送できます。
 - スマートライセンスを使用するには、まず Cisco Software Central でスマートアカウントを設定する必要があります（software.cisco.com）。

シスコ ライセンスの詳細については、cisco.com/go/licensingguide を参照してください。

Cisco Catalyst CW9800 ワイヤレスコントローラでは、4 つのレベルのライセンスがサポートされます。コントローラは、4 つのうちいずれかのレベルで機能するように設定できます。

- **Cisco DNA Essentials**：このレベルでは、Cisco DNA Essentials 機能セットがサポートされます。
- **Cisco DNA Advantage**：このレベルでは、Cisco DNA Advantage 機能セットがサポートされます。
- **NE**：このレベルでは、Network Essentials 機能セットがサポートされます。これは、Cisco DNA Essentials で使用できます。
- **NA**：このレベルでは、Network Advantage 機能セットがサポートされます。これは、Cisco DNA Advantage で使用できます。

Cisco DNA Essentials をご購入のお客様については、Network Essentials がサポートされ、有効期限終了後も引き続き機能します。また、Cisco DNA Advantage をご購入のお客様については、Network Advantage がサポートされ、有効期限終了後も引き続き機能します。

コントローラの初回起動は Cisco DNA Advantage レベルで実行されます。

ご質問がある場合は、ask-catalyst9800licensing@cisco.com で Cisco Catalyst CW9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ ライセンスのメールグループにお問い合わせください。

スマートアカウントによるライセンス管理

Cisco Smart Software Manager (SSM) を使用してスマートアカウントを作成すると、デバイスやライセンスパッケージの発注およびソフトウェアライセンスの管理を、一元化された Web サイトから実施できるようになります。スマートアカウントを設定すると、日単位で電子メールアラートが送信され、アドオンライセンスの更新期限通知を受け取ることができます。スマートアカウントは、Cisco Catalyst CW9800 ワイヤレスコントローラに必須です。スマートアカウントの詳細については、<https://www.cisco.com/jp/go/smartaccounts> を参照してください。

保証

保証については、Cisco.com の「[製品保証](#)」ページ [英語] を参照してください。

シスコ製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の Limited warranty 規定

ハードウェア保証には次の条件が適用されます。組み込みソフトウェアは、[シスコの EULA や SEULA](#)、またはデバイスに読み込まれたその他のソフトウェア製品に固有のソフトウェア保証条件に従います。

ハードウェア保証期間：1 年間

ハードウェアの交換、修理、返金：シスコまたはシスコのサービスセンターでは、返品許可 (RMA) 要求を受領してから 10 営業日以内に交換部品を出荷できるように、ビジネスの範囲内で適正な努力を払っています。実際の配送期間は、お客様がお住まいの地域によって異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

シスコの環境保全への取り組み

シスコの[企業の社会的責任](#) (CSR) レポートの「環境保全」セクションでは、製品、ソリューション、運用、拡張運用、サプライチェーンに対する、シスコの環境保全ポリシーとイニシアチブを掲載しています。環境保全に関する主要なトピック (CSR レポートの「環境保全」セクションに記載) への参照リンクを次の表に示します。

表 8. 持続可能性に関する情報への参照リンク

持続可能性に関するトピック	参照先
製品の材料に関する法律および規制に関する情報	材料
製品、バッテリー、パッケージを含む電子廃棄物法規制に関する情報	WEEE 適合性
持続可能性に関するお問い合わせ	連絡先： csr_inquiries@cisco.com

シスコでは、パッケージデータを情報共有目的でのみ提供しています。これらの情報は最新の法規制を反映していない可能性があります。シスコは、情報が完全、正確、または最新のものであることを表明、保証、または確約しません。これらの情報は予告なしに変更されることがあります。

発注情報

表 9. 発注情報

タイプ	製品 ID	説明
ワイヤレスコントローラ	CW9800H1	Cisco Catalyst CW9800H1 ワイヤレスコントローラ
	CW9800H2	Cisco Catalyst CW9800H2 ワイヤレスコントローラ
アクセサリ、スペア	PWR-CH1-750ACR	Cisco Catalyst ワイヤレスコントローラ 750W AC 電源装置
	PWR-CH1-950WDCR	Cisco Catalyst ワイヤレスコントローラ 950W DC 電源装置

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital® により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。[詳細はこちらをご確認ください。](#)

米国本社
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
シンガポール

ヨーロッパ本社
アムステルダム (オランダ)

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開業しています。オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/jp/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)